

2023年4月事業部会「定例会議(林の日)」議事録

2023.4.20 作成

日 時：2023年4月13日(木) 17:45~19:30

場 所：世田谷区宮坂区民センター 2階 中会議室

出席：24名(以下敬称略)

長谷川守、脇本和幸、室伏憲治、古谷一祐、氏家清高、三井大造、中林和雄、横井行男、小川里花、榎田幹夫、福田正男、丸山正、枝澤修、栗原悦郎、臼井治子、浅井記子、宮入芳雄、藤岡眞、長岡篤、鈴木幸代、鍛冶健二郎、萩原卓、立川洋一、入江克昌

欠席者(事前連絡)：横尾俊弘、飯塚義則、飯島雅巳、芝原久、小勝眞佐枝、熊木秀幸、瀬川真治

議事進行：脇本和幸 書記：浅井記子

議 題

(以下敬称略)

(1) 全体(確認・連絡・報告事項)

1. 総会報告 事業部会への質問について

(長谷川)

- ・ 田園調布学園土曜プログラム、GC作戦、低山はいかいは長年続いており、運営も安定しているので事業部会から離れて運営しても良いのではないかと。

➡ GC作戦、低山はいかいは関係者のご意見を伺ったうえで検討したい。

田園調布学園土曜プログラムについては、現状通りの運用としたい。

各担当者より：

- ・ 低山はいかいは：事業部会から離れての運営について低山はいかいは前代表・前々代表と相談したところ当面はこのままだと希望。事業部会に迷惑をかけているわけではないと考える。(福田)
- ・ GC作戦：個人の意見としては、参加費¥500のため、事業部会から経費の補助がないとやっていけない。スタッフと相談の上、対応をお知らせする。(榎田)

2. ふれあいイベント(「春の健康ハイキング」)の保険対象事例の報告

(長谷川・脇本)

- ・ 3/9春の健康ハイキング(26名参加)で北高尾山稜登山道の黒ドッケ〜タヤけ小やけふれあいの里間の標高500m地点で70代女性が約5.5m転落、班長とアシストが直ちに斜面を下って負傷の有無を確認。左わき腹の痛みを訴えていたが、立って自力歩行が可能であることを確認できたので、携行していた6mmロープで負傷者の身体を確保しながら、登山道まで斜面を登らせた。その後、左わき腹に加えて右足首の痛みも訴えていたが、自力でタヤけ小やけふれあいの里に下山し、スタッフ一同と合流して、バスにて高尾駅北口に向かった。左わき腹の痛みがあったので、医療機関の受診が必要と考え、当初は高尾駅南口にある「よしだクリニック」を受診したが、内臓にダメージがある恐れもあるので、「南多摩病院の救急医療科」の受診を勧められ、当該病院を受診し、検査の結果、左わき腹の痛みは“打ち身”という診断を得た。今後の治療のアドバイスや処方箋の発行もなく、班長と主幹事がJR西八王子駅まで送った。その後痛みが引かず近所のクリニックでCTを撮ったところ“あばら骨にひび”が入っていて、2-3週間で回復との診断を受けたとのこと。保険手続きを安全部会長に依頼。3/31には痛みもなく完治、早くまた山にいきたいとのこと。後日、実施の現場検証を含め、本イベントの準備から事後処理までの報告書を作成。(脇本)

- ・ 事業部会当日出席者に報告書を回覧。

- ・ 安全部会よりFIT会員に4-restメールにて要点報告をする。

- ・ ふれあいセンター経由関東森林管理局にも報告書(簡易版)を提出。

(長谷川)

➡ 上記2つの報告書は事業部会HPに掲載、参考事例として活用して頂きたい。(長谷川)

【質問・意見】

- ・ 今後、事故発生の場合、今回と同様の対応が必要か。(丸山) ➡ 事業部会長から指示されたわけではない。今後このようなことが起きた場合の参考になればと考える。(脇本)

- ・ 8ミリロープを使用とのことだが、ロープを準備した理由は。(藤岡) ➡ 急に切れ落ちている箇所があり、万が一の場合に備えて持参した。当日の現場では転落した本人はロープを頼りに、班長が後ろから支えて斜面を登ることができた。

- ・ 今回は転倒ではなく転落だったので重要視されたのでは。(福田)

- ・ これまでの事故発生については報告書(FIT書式)が提出されている。

(入江)

- ・ 今回は主幹事及び班長が親身になって対応したのが良かった。

(長谷川)

3. 事業部会HP、MLの現況等について (脇本 代読) (飯塚)
- ・登録者数 160 名 (1 名増加)
 - ・ふれあい推進事業の案内は 5/30 実施予定までと一覧表を掲載、報告は 3 月末までの実施分すべてアップロード済み。高尾山 GC 作戦の案内は榎田さんにより 7/1 第 146 回まで、報告は 4/1 日第 143 回 GC 作戦までが掲載済み。外部案件は 3/10 実施の「実践学園高等学校 2 年生高尾山登山」が掲載済み。低山はいかいは 3/22 「狭山丘陵トトロの森」が掲載済み。
 - ・HP へのアクセスは 3 月から 4 月の 1 か月で閲覧者数 769、ページ数は 2504(前月より増加)、ふれあい推進事業関係案内の閲覧 42%。Mobile からの比率 33%。
 - ・JIMDO を更新 14,400 円 (1 年契約)、メールアカウント料 990 円、独自ドメイン使用料 1,650 円
4. 2023 年度 (令和 5 年度) ふれあい推進事業イベントについて (長谷川・脇本)
- ・関東森林管理局(高尾森林ふれあいセンター経由) と F I T の「森林ふれあい推進事業イベント実施協定書」取り交わし終了 (3/30 協定書受領)。事業部会HPに掲載。
 - ・イベント一覧表のDM発送/237 部 (3/29)、一覧表による参加が多い。3/29 浅川市民センターにて発送作業 (7 人参加)。
 - ・一覧表修正: 5/21 実施予定「風薫る景信山・小仏城山を訪ねて相模湖へ」が 5/20 で印刷されている。発送分はシールを貼って修正。5/20 で申し込みがあった場合は個別に対応する。約 50 人に「5/20」のものが渡っていると考えられる。事業部 HP とふれあいセンターHP は差し替え済み
5. その他 森林ふれあい推進センター内 F I T キャビネットへの立ち入りの件 (長谷川)
- ・職員 2 人が退職のため、新しい職員 2 人と藤田さんが担当。キャビネットへの立ち入りの折は一声かける。
 - ・ふれあい推進事業実施マニュアルを改定作業中、近日中にメールでお知らせ予定。病院の連絡先追加とマスコミ掲載先の変更が主な改定点。(脇本)

(2) 各担当の報告 等について

1. 森林ふれあい推進事業

1) 体験参加者の応募状況について

(脇本)

- ・2 人が「小下沢の溪流のジャブジャブ歩き」(7 月) と「高尾山の寺社林を歩いて四国遍路を体験」(11 月) にそれぞれ希望。今年は昨年より頻繁にメールで募る予定

(実績)

1) 春の健康ハイキング～北高尾の森で春を探そう～

2023. 3. 9 (脇本)

- ・小下沢林道が工事通行止めのため、昨年度と同じ黒ドククタやけ小やけふれあいの里のルートに変更。応募 66 名、ルート変更の連絡後 20 名キャンセル、当選 30 名、参加者 25 名。マスコミ掲載は読売と定年時代。アンケート結果は早春の花を見られた、小仏層、動物の痕跡を楽しむことができた、班が小人数で説明が分かりやすい、普段行けないところに行った、バスの待ち時間が長い等。(往路の事故発生については(1)の 2 参照)

2) カタクリ・シュンラン・ベニシダレザクラを訪ねる春風ハイキング

2023. 3. 24 (小勝)

- ・応募 74 名、当選 35 名、参加 27 名、天気は曇りから晴れ後雨、気温は高め、シュンランはピークを過ぎ、ベニシダレザクラは散り始め。後半の急な斜面では用意していたロープを補助的に張り声掛けをして降りました。昼食場所の仮設トイレの設置が担当者の道迷いで少し遅れたが、多くの方に利用してもらい評判はよかった。(室伏 代読)

3) 高尾山 春の親子自然観察会

2023. 3. 26 (長岡)

- ・当日は雨のため中止、5 組 12 名、3 班体制を予定。参加予定者には各班の班長から連絡。

4) 「春の香りに誘われて」スマレやフタバアオイがひっそりと咲く日影沢へ

2023. 4. 11 (鈴木)

- ・応募 45 名、当選 42 名、参加 37 名、年度最初のイベントのため開催情報の発信が遅れた。過去申込者への先行案内に加え、前のふれあいイベントで配布して頂いたチラシによる申込、アサコの掲載で申込数が増えた。春の花の開花が早く下見時の花が本番で終わっているものがあったが参加者が下見時になかった花を見つけたりアナグマを見ることができた。高尾駅からのバス 3 台を依頼したがかなわず 2 台であった。バスを待つ時間が長いため、開会式でお詫びの言葉を伝えた。アンケートではバス待ちに関するクレームは無かった。

(予定)

1) 三山踏破 (陣馬山・景信山・高尾山)

2023. 5. 10 (脇本)

- ・応募 20 名 (4/13 現在)、5 班体制+アシスト 2 名、マスコミはアサコ、読売八王子、定年時代に依頼、4/18 定年時代掲載予定 (今回は往復はがきとメール宛先の両方が掲載される)

- 2) 風薫る景信山・小仏城山を訪ねて相模湖へ (長谷川 代読) 2023. 5. 21 (飯塚)
 ・現在申し込み4名、マスコミは読売、朝日、アサココ、定年時代に依頼済み
- 3) セッコクと初夏の草花を訪ねて 2023. 5. 30 (藤岡)
 ・申し込み8名、マスコミは朝日、アサココ、読売、定年時代に依頼済み、4/14 読売多摩板掲載予定。4/11「春の香りに誘われて」の参加者にチラシ配布、5 班体制+アシスト2名、主幹事の体調の関係でスタッフを今後募集の予定。
- 4) 初夏の奥高尾 静寂の林道ハイキング 2023. 6. 10 (鍛冶)
 ・内容は昨年と同じ、出発とゴールは昨年より早い。マスコミ依頼はこれから。
 ・チラシ記載内容に誤記、あいまい表現あり。要修正。(長谷川)
 ・チラシを検証する人を置いてはどうか(丸山) ➡脇本・三井が確認する。
- 5) 高尾山 初夏の親子自然観察会(萩原・立川) 2023. 6. 25 (氏家)
 ・テーマはインストラクターと歩く高尾の森、6/4 下下見, リハーサル 6/18
 ・チラシについて:
 イベント内容をいれる必要がある。葉書の宛先の記載がない。協定イベントのため、往復はがきの宛先をふれあいセンターとしている。(長谷川)
 親子観察会の親の年代はメールでの申し込みが多い(萩原・立川)
 祖父母と孫の参加もある(藤岡)
 リストでは申し込み方法を往復はがきまたはメールとしているので今年度は葉書宛先を記載すべき(福田) ➡2023 年度分については葉書の宛先も記載する。
 センターからの要望で、コロナ対応の一文をチラシに入れることになっている(藤岡)
 ・修正版を親子担当(氏家・三井)に確認後、提出予定。(萩原・立川)
- 6) 高尾山の樹木を楽しむハイキング 2023. 6. 30 (長谷川)
 ・昨年は樹木カード配布が好評だった。詳細はこれから対応の予定。
2. 田園調布学園土曜プログラム(小川)
 ・今年度は1学期に4講座、2学期に4講座、計8講座予定、3月に申し込みを募ったところ定員オーバーとなり、これから新中学1年に募集をかける。抽選により定員通りで実施予定。
 第1回は、5/27 自然と友達になろう(担当 長谷川)
3. クラフト等イベント担当(丸山・枝澤)
 (実績) クラフト研修会 4/2(日) 10:00 ~ 森林ふれあい推進センター工作室
 ・講師9人、参加者13人、基本的なクラフトを伝授。森守会(令和4年)からの参加が多かった。
 * みどりとふれあうフェスティバル 5/13(土)、5/14(日) オンライン開催(不参加)
 ➡費用は発生しない。
 ・クラフト材料(ビーズ、ワイヤーなど)を購入。
4. 高尾山GC作戦(楨田)
 ・実績: 4月1日(土) 第143回 小仏一城山コース 集合: 高尾駅北口 8時20分
 参加者51名(一般39、会員12)、6班体制、スタッフ9名(班長6、サポート1、GC高尾をもっときれいにし隊: 脇本・西)、小仏峠から先の縦走路の登山客が多く、解散が予定より遅れた。
 ・予定: 5月6日(土) 第144回 稲荷山コース 集合: 森林ふれあい推進センター 8時30分
 募集50名、4/29 下見。
5. 低山はいかい(福田)
 ・実績: 3月22日(水) 狭山丘陵 トトロの森さんぽ(その2) 主幹事: 廣川
 申し込みから1名欠席、21名参加。FIT MLにて報告済み、見どころはヤマザクラ、他センヤリ、ノジスミレ等を観察後、無事解散
 ・予定: 4月30日(日) 山手線内最高峰の箱根山、目白台のピークと名園散策、目白、池袋の近、現代建築鑑賞 主幹事: 小田野
 現在22名希望、若い期の人に参加してほしい。
6. 外部案件(中林) 別紙参照
 (実績) 3月10日(金) 実践学園高等学校 高尾山登山
 ・生徒152人(当日参加143名、9名欠席) 16班体制、

(予定)

- ・ 5/28 コカ・コーラボトラーズジャパングループ East 労働組合、参加者 23 名、FIT スタッフ 5 名、主幹事：熊木、下見 5/15(月)
- ・ 6/ 7 調布市体育協会：春の健康リフレッシュハイク (主幹事：福田)
- ・ 7/28 東京都環境公社(主幹事：岡本)、打合せ進行中。
- ・ 10/25 調布市体育協会：秋の健康リフレッシュハイク (主幹事：福田)
- ・ 10/ 1 七国小高尾登山(日程は要確認) (主幹事：吉原)
- ・ 10/28 八王子市生涯学習フェスティバルの講座「高尾山の魅力」 (主幹事：長谷川)
サポートスタッフ打診中

7. 会計報告 別紙参照 (4/13 現在の収支)

収入 ・ FIT 交付金 304,000 円
・ 事業部会固有収入 16,500 円 (イベント等運営協力金)

支出 ・ FIT 交付金対象 137,989 円
部会長・副部会長手当、スタッフ手当 8 名分、
通信費 (ふれあい推進事業リピーターDM 案内)、消耗備品費 (クラフト関係)

・ 事業部会固有支出 79,040 円 事業部会よりスタッフ手当 9 名分他

残高 **305,138 円** (2022 年度繰越金 201,667 円) を含む)

(2) その他 出席者より

枝澤：クラフト研修に若い期の人に参加していただきたい。

栞原：ムクロジを粉末にしたので希望の方はどうぞ。

宮入：コロナが終わったといえるかどうか。マスクの着用は個人に任せることになる。

以 上